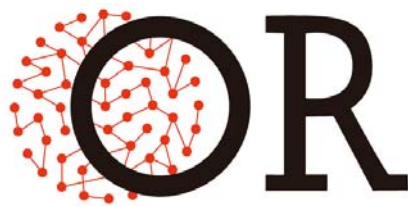


2021 年度通常総会



日時：2021 年 4 月 27 日

場所：Zoom によるオンライン会議

議事：第 1 号議案

「2020 年度事業報告」の件

第 2 号議案

「2020 年度決算報告および監査報告」の件

第 3 号議案

「2021-2022 年度新役員承認」の件

報告：1 2021 年度事業計画

2 2021 年度収支予算

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

2020 年度事業報告書

事業番号： 公1（1本のみ）

事業の内容： オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

- (1) 春季研究発表会：新型コロナウイルス感染防止のため開催直前に中止

3月12日、13日、奈良春日野国際フォーラムにて開催予定

実行委員長：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）

発表件数 165件：アブストラクト集発行

・特別テーマ 「万葉とOR」

・特別講演（一般公開）

- 1) 『紀伊山地の霊場と参詣道』世界遺産登録への道

田中利典氏（吉野 金峯山寺長）

- 2) 「地域活性イベント創出の現場から」

中野聖子氏（ホテルサンルート奈良 代表取締役社長）

- (2) 秋季研究発表会：新型コロナウイルス感染防止のため5月に全面中止を決定

8月27日、28日、北海道情報大学において開催予定

実行委員長：加地太一（小樽商科大学）

発表件数 0件：発表論文募集を中止、アブストラクト集未発行

・特別テーマ 「スポーツとOR」

・特別講演（一般公開）：計画を中止

2. シンポジウム

- (1) 春季シンポジウム：新型コロナウイルス感染防止のため開催直前に中止

3月11日、奈良春日野国際フォーラムにて開催予定

実行委員長：山下信雄（京都大学）

テーマ 「データサイエンス教育の潮流」

講演 5件：予稿集発行

- (2) 秋季シンポジウム：新型コロナウイルス感染防止のため5月に全面中止を決定

8月26日、北海道情報大学において開催予定

実行委員長：西川孝二（北海道科学大学）

テーマ 「人工知能と OR」

講演 4 件

3. OR セミナー

新型コロナウイルス感染防止のため、年度当初、年間 4 回の計画が 1 回しか開催できなかった。

(1) 第 1 回「Excel ソルバーではじめる OR」

- ・ 11 月 29 日，：Zoom によるオンライン開催
- ・ コーディネーター：日鉄ソリューションズ（株） 永井秀稔
- ・ 司会：中央大学 後藤順哉
- ・ 講師：後藤順哉（中央大学），堀田敬介（文教大学）
- ・ 参加者 64 名

(2) 第 2 回「地理情報システム入門」：再度の緊急事態宣言のため 12 月に中止決定

- ・ 1 月 23 日，東京ガス本社ビル 2 階大会議室にて開催予定
- ・ コーディネーター・司会：東京大学 本間裕大
- ・ 講師：貞広幸雄（東京大学），渡部大輔（東京海洋大学），長谷川大輔（東京大学），
本間裕大（東京大学）

4. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会（第 43 回）：春季研究発表会の中止に伴い中止

(2) 秋季企業事例交流会（第 44 回）：秋季研究発表会の中止に伴い中止

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2020年3月1日	64	3	2,300部
2020年4月1日	64	4	2,300部
2020年5月1日	64	5	2,300部
2020年6月1日	64	6	2,200部
2020年7月1日	64	7	2,200部
2020年8月1日	64	8	2,150部
2020年9月1日	64	9	2,100部
2020年10月1日	64	10	2,100部
2020年11月1日	64	11	2,100部
2020年12月1日	64	12	2,100部
2021年1月1日	65	1	2,300部
2021年2月1日	65	2	2,100部

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2020年4月	62	2	65部
2020年7月	62	3	70部
2020年10月	62	4	70部
2020年12月 (TORSJ)	62		40部
2021年1月	63	1	65部

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

A	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	待ち行列	河西 憲一（群馬大学）, 木村 達明（大阪大学）	30 名	8 回 (1 回)	計 8 回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システムなど多岐に渡っている。このうち 1 回は 4 部会・グループ（「動的決定モデルとその応用」、「信頼性とその応用」、「待ち行列」、「量子コンピュータと次世代計算機活用」）の合同で実施された。また、2021 年 1 月 25-27 日に「2020 年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	オンライン (Zoom) 開催
2	数理計画 (RAMP)	吉瀬 章子（筑波大学）, 高野 祐一（筑波大学）	33 名	1 回	10 月 26、27 日にオンラインでシンポジウムを開催した。テーマは「離散最適化の最先端」、「離散構造とアルゴリズム」、「実践的最適化手法とその応用」、「連続最適化の最近の進歩：理論・アルゴリズム・応用」、「学習と最適化の融合」である。この他に、2 件の特別講演を設け、海外からの講演者を招いた。このように、国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	オンライン
3	評価の OR	後藤美香（東京工業大学）, 伊豆 永洋一（神奈川大学）	10 名	3 回 (1 回)	定例研究会では毎回 2 名の講演者を招き、DEA やその他評価に関連した分析手法やその応用研究について講演を行った。本年度全 3 回のうち 1 回は「動的決定モデルとその応用」研究部会との共催で研究会を実施した。延参加者 57 名。	オンライン 開催
4	意思決定 法	水野隆文（名城大学）, 飯田洋市（公立諏訪東京理科大学）	0 名	0 回		
5	サプライ チェーン 戦略	加納 政志（株式会社日立製作所）, 草刈 君子（ソフトウェアエンジニアリング株式会社）	24 名	1 回	サプライチェーンにおける経営戦略、運用戦略、戦略プロセスに対し OR 手法の現実適用について事例と理論の両面から研究する。参加者 24 名 (平均 24 名) である。活動内容は scsr.jp にて一般公開している。	オンライン (Zoom)

B	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	最適化とその応用	高松 瑞代 (中央大学), 田中 未来 (統計数理研究所)	10 名	3 回	定例研究会を 3 回開催し, 7 件の講演に延べ 274 名が参加した。なお, 当初はもう 1 回の定例研究会および未来を担う若手研究者の集いと題した学生を中心とする研究会を開催する予定だったが, 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて中止した。	オンライン 会議システム Zoom
2	不確実状況下における意思決定とその周辺	小出 武 (甲南大学), 井上 真二 (関西大学)	15 名	2 回	不確実・不確定な現代社会を対象としたマーケティング, 金融工学, 最適化, データ工学, 機械学習, 人工知能などの関連研究分野に関する研究講演を中心とした情報交換を行った。述べ参加者 46 名	オンライン
3	危機管理と社会と OR	諸星 穂積 (政策研究大学院大学), 鶴飼 孝盛 (防衛大学校), 久間 大 (防衛大学校)	9 名	5 回	危機管理と社会システムを文理融合的に議論する場を設け, OR の理論と応用研究に関する話題を, 毎回様々な分野から講師を招いて講演いただき, 学際的な見地からの研究交流を行った。	政策研究 大学院大学
4	ヘルスケアの OR	高木 英明 (筑波大学), 小笠原 悠 (東京都立大学), 阪口 昌彦 (大阪電気通信大学)	72 名	1 回	OR 研究者とヘルスケア分野の現場研究者の交流と, 病院経営, 医療の実測データに基づく理論, アルゴリズム, 数理モデル等の研究を推進し, 我が国の課題に応える OR の新たな応用分野の開拓と普及を図る。	Zoom に よるオン ライン開 催
5	インフラの OR 的展望	高嶋隆太 (東京理科大学), 鳥海 重喜 (中央大学)	24 名	6 回	OR 的手法を用いることにより, インフラに係わる諸問題を解決することを目指すとし, 主に, エネルギー・環境インフラの進展, 輸送インフラの地政学と安全保障, インフラの文明と進化の構造化に関する研究を遂行した。	オンライン
6	超スマート社会のシステムデザインのための理論と応用	牧野和久 (京都大学), 山口勇太郎 (大阪大学), 森本陽 (三菱重工業 (株))	3 名	4 回 (1 回)	超スマート社会実現のために必要なオペレーションズ・リサーチ関連分野の理論と応用を発展させる研究会を開催した。うち 1 回は 3 日間の夏学校を共催し, 延参加者は約 340 名。	Zoom に よるオン ライン開 催
7	動的決定モデルとその応用	来島 愛子 (上智大学), 吉良 知文 (群馬大学)	13 名	5 回 (2 回)	今年度は合同開催も含め 5 回の研究会を開催しました。最適停止問題, マルコフ決定過程/ゲームのファイナンスへの応用, 確率モデルの医療への応用などのトピックについて研究会を開催し, 交流も一層深まりました。	オンライン (Zoom)
8	信頼性とその応用	岡村 寛之 (広島大学), 鄭 俊俊 (立命館大学)	26 名	5 回 (合同 (1 回, 国際会議共催 1 回))	信頼性及び保全性に関する理論の発展と応用分野の拡大を目指し, 合同開催および国際会議共催を含む 5 回の研究会を開催した。メンバーの協力で情報関係など様々な分野の研究者と交流することができ, 信頼性の応用を広げることができた。	Zoom に よるオン ライン

B	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
9	エネルギーシステムの進化と OR	所 健一 (一般財団法人電力中央研究所), 宇田川 佑介 (構造計画研究所)	47 名	5 回	本研究部会では, 少子高齢化による需要減への対応, 脱炭素化へ向けた再生可能エネルギーの活用など, 望ましいエネルギーシステムの進化を支える OR 手法の適用方法と, 必要となる新たな方法論について検討する。	オンライン開催
10	データドリブンマーケティング	横山 暁 (青山学院大学), 朝日 弓未 (東京理科大学), 大竹 恒平 (東海大学)	13 名	5 回	本年度はオリコン株式会社から提供いただいた大規模アンケート調査データを利用した「データ解析コンペティション」を開催した。17 チームのエントリー, 延べ約 100 人の参加者があり, 11 月末~12 月初旬に中間発表会 3 回, 2 月末に最終発表会 2 回をオンライン (Zoom) にて開催した。 様々な商品・サービスのアンケートデータに対し, 各チームが課題をもってデータ集計・分析に取り組み, 発表会を通して成果を報告するとともに, 議論を行った。	オンライン開催

C	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	地域課題解決の OR	鈴木 勉 (筑波大学), 石井儀光 (国土技術政策総合研究所)	50 名	3 回	OR 手法を通して都市や地域の現象に関する諸問題に取り組んでいる研究者や学生を対象とする発表や議論の場として, セミナー・ワークショップを 3 回開催した。延べ発表数 80 件、延べ参加者数 174 名であった。	筑波大学 (Web 開催)
2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪拓也 (九州工業大学) 矢実 貴志 (株式会社 NTT データ)	8 名	4 回 (1 回)	量子コンピュータやイジングマシンなどを含む次世代計算機を用いて, 最適化をはじめとした OR の問題や実社会における具体的な課題に対する活用方法を検討するために, 計 4 回の研究集会を開催した, 延参加者 132 名。	すべてオンライン開催

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第21回業績賞
 - ▷ 鈴木 敦夫（南山大学）
- (2) 第45回普及賞
 - ▷ 田辺 隆人（NTT データ数理システム(株)）
 - ▷ 生田目 崇（中央大学）
- (3) 第44回実施賞
 - ▷ 筑波大学未来社会工学研究開発センター

2. 秋季表彰

- (1) 第10回研究賞
 - ▷ 岡本 吉央（電気通信大学）
- (2) 第10回研究賞奨励賞
 - ▷ 東川 雄哉（兵庫県立大学）
 - ▷ 鮎川 矩義（東京理科大学）
 - ▷ 井上 文彰（大阪大学）
 - ▷ 宮内 敦史（東京大学）
- (3) 第10回論文賞
 - ▷ 霧生 拓也（三菱 UFJ トラスト投資工学研究所），枇々木 規雄（慶應義塾大学）
- (4) 第38回学生論文賞
 - ▷ 東 吾大 （修論 東京工業大学）
 - ▷ 田辺 広樹 （修論 京都大学）
 - ▷ 池田 基樹 （修論 東京大学）
 - ▷ 増村 雄哉 （修論 大阪大学）
 - ▷ 大内 克久 （修論 京都大学）
 - ▷ ZHONG DAI （修論 筑波大学）

【海外研究助成事業】

□事業の趣旨・内容

本事業は、若手オペレーションズ・リサーチ研究者に対する海外研究助成により、海外の研究機関とのオペレーションズ・リサーチの研究および応用に関する連携を一段と進化及び拡大させ、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

2020 年度は、次の 1 名を選考したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、派遣は保留となった。

1 伊藤 勝 (日本大学)

派遣期間：8 月 16 日～9 月 16 日

派遣先：米国 Department of Industrial and Systems Engineering, University of Minnesota

Zhaosong Lu 教授

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2020/2/21	小樽商科大学 サテライト 中講義室	2019 年度事業報告, 決算, 2020 年度事業計画, 予算, 役員
講演会 1	2021/2/9	オンライン (Zoom)	講師: 土田 安紘 氏 (AWL 株式会社) 講演題目: I 映像解析技術を応用した観光地三密対策の取り組みについて 参加者: 14 名

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2020/6/6	オンライン	2019 年度事業報告, 2019 年度決算, 2020 年度事業計画についてなど
会議	2020/11/26	オンライン	東北支部運営委員会
セミナー	2020/11/29	オンライン および 福島大学	東北 OR セミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会。主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し、個々の大学や研究室を超えた地域全体での若手研究者育成、および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている。今年度は、2020 年 11 月 29 日 (日) にオンラインおよび福島大学で開催した。22 名 (うち学生 13 名) の参加者を集めて、盛況のうちに無事終了することができた。詳細は下記サイト参照。 http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2020/

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2020/2/29	メール審議	2019 年度事業報告・決算報告, 2020 年度事業計画・予算・役員選出・審議・承認
SSOR 中部 支部 2020 中部支部研 究発表会	2020/8/22	オンライン開 催	中部支部研究発表会は 2/29 に予定されていたがコロナ禍の影響で中止となったため、SSOR と合同で 8 月に開催した。 発表 17 件, 事前登録者 55 名 (瞬間参加者 37 名)
特別講演	2020/8/22	オンライン開 催	「配送計画問題に対する局所探索法とその応用」橋本英樹 (東京海洋大学) 事前登録者 55 名 (瞬間参加者 37 名)
2020 年度 OR 学会中 部支部シン ポジウム	2020/12/12	オンライン開 催	テーマ「スケジューリングの理論・実務と OR」 「サプライチェーン最適化における数理技術の実践」中尾芳隆 (キヤノン IT ソリューションズ株式会社) 「辞書式二目的最適化問題の定式化例とアルゴリズム」軽野義行 (京都工芸繊維大学) 「解の多様性を考える」池上敦子 (成蹊大学) 事前登録者 70 名 (最大瞬間参加者 55 名)

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2020/03/24-04/03 (メール投票期間)		対面形式で予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、メールにて審議・報告を行った。2019年度事業報告・決算および2020年度事業計画・予算などが承認された。 有効投票数：57通。
支部SSOR (※未開催)	2020/10/03-10/04		新型コロナウイルス感染症の影響で、合宿形式での開催が難しいことから中止された。
支部シンポジウム	2020/11/14	中央電気倶楽部	実行委員長：牧野 和久（京都大学） 参加者：会場での参加者 17名、オンライン配信視聴者 52名 1. 福永 拓郎（中央大学）「不確実性下での適応的最適化」 2. 前原 貴憲（理化学研究所）「束上の劣モジュラ関数最大化」 3. 河瀬 康志（東京大学）「オンラインナップサック問題に対するアルゴリズム」 4. 後藤 順哉（中央大学）「分布的ロバスト最適化モデリング---解釈と実用への示唆」 5. 黒木 裕介（ヤマトホールディングス株式会社）「ヤマト運輸プログラミングコンテスト2019を振り返って」
支部運営委員会	第1回：2020/12/04 ， 第2回：2021/02/19	Zoomにて開催	第1回：出席者 18名，委任状提出 16名 計 34名 第2回：出席者 26名，委任状提出 8名 計 34名

5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2020/3/24-30	メール会議	令和元年度支部活動・決算の報告 令和2年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2020/11/21-22	オンライン (ZOOM)	中国・四国支部では、若手研究者の育成のために様々な取り組みを行っている中、その活動の一環として、若手の研究発表を中心とした研究発表会を開催した。初日に懇親会を設けることで、多くの意見交換が為されるとともに、親睦を深めることができた。 (参加者：30名(内 学生18名))
支部シンポジウム	2020/12/26	オンライン (ZOOM)	本シンポジウムでは、現場の第一線でご活躍されている講師4名を招待した。社会に役立つ様々な応用を前提とした確率モデルの実例をご紹介いただき、実現象をどのようにモデル化したのかについてわかりやすく解説していただいた。(参加者：12名)
支部研究部会	2021/2/16	鳥取大学	部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」 主催講演会：1件(講師2名)
支部研究部会	2020/12/12	オンライン (ZOOM)	部会名「SCM&サービス工学」 主催講演会：1件(講師2名)
支部研究部会	2020/12/8 2021/2/12 2021/2/17	オンライン (ZOOM または TEAMS)	部会名「ORと数学」 共催研究会：3件(講師4名)
講演会	2020/12/19	オンライン (ZOOM)	講師：阪口龍彦(近畿大学工学部情報学科 准教授) 講師：廣瀬英雄(久留米大学バイオ統計センター 客員教授，中央大学研究開発機構 機構教授)

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2020/03/21	メール審議	・2019 年度活動報告, 2020 年度活動計画 ・参加者人数: 22 名
支部事業 SSOR	2020/11/28	ハイブリット式: ・博多会場 ・北九州ブース ・名古屋ブース ・オンライン	・ハイブリット式の九州地区における若手研究者中心の交流会 ・発表件数: 16 件 ・参加者人数: 31 名 ・表彰: 4 件 【最優秀発表賞 (大学院生の部)】木谷 裕紀 (名古屋大学) 【最優秀発表賞 (学部生の部)】塩田 拓海 (九州工業大学) 【優秀発表賞 (大学院生の部)】Thitiwat Ruangsakorn (福岡工業大学) 【優秀発表賞 (学部生の部)】大塚 あいみ (北九州市立大学)
講演会	2020/11/28	ハイブリット式: ・博多会場 ・北九州ブース ・名古屋ブース ・オンライン	・講師: 横田将生 様 (福岡工業大学) ・題目: 「自然言語を介する人間とロボットによる協調的問題発見と解決に向けて」 ・参加者人数: 33 名
講演会	2020/12/12	ハイブリット式: ・福岡工業大学 ・オンライン	・講師: 藤本晶子 様 (九州工業大学 大学院情報工学研究院 知能情報工学研究系) ・題目: 「データサイエンスとして視る宇宙天気」 ・参加者人数: 17 名
研究会	2020/12/12	ハイブリット式: ・福岡工業大学 ・オンライン	・講師: 君野理絵 様 (長崎大学大学院経済学研究科) ・題目: 「中等商業教育における非認知能力育成の DEA による効率測定」 ・講師: 新井友梨 様 (長崎大学大学院経済学研究科) ・題目: 「DEA による舞台芸術に携わる非営利事業体の効率性分析」 ・参加者人数: 17 名

【会議】

1. 通常総会

2020年4月25日（Zoomによりオンライン開催）

- | | | | |
|---|-----------------------|---|---|
| 1 | 2019年度事業報告の件 | 承 | 認 |
| 2 | 2019年度収支計算報告および監査報告の件 | 〃 | |
| 3 | 2020-2021年度役員承認の件 | 〃 | |

2. 理事会

【2020年度第1回】 2020年3月31日（Zoomによりオンライン開催）

◇審議

- | | | | |
|----|---------------------------|---|---|
| 1 | 前回理事会議事録確認の件 | 承 | 認 |
| 2 | 入退会・移動（名誉会員他）・シニア会員承認の件 | 〃 | |
| 3 | 事務局職員人事の件 | 〃 | |
| 4 | 2020年度研究部会追加補助金の件 | 〃 | |
| 5 | 研究発表会アブストラクト集電子版発行の件 | 〃 | |
| 6 | 2020年秋季研究発表会・シンポジウム予算の件 | 〃 | |
| 7 | 2021年春季研究発表会・シンポジウム計画案の件 | 〃 | |
| 8 | 機関誌特集座談会開催のための交通費支出の件 | 〃 | |
| 9 | 2020年度総会資料の件 | 〃 | |
| | ・第1号議案 2019年度事業報告の件 | 〃 | |
| | ・第2号議案 2019年度決算報告及び監査報告の件 | 〃 | |
| | ・第3号議案 2019-2020年度新役員承認の件 | 〃 | |
| 10 | 2020年度理事会日程の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | | |
|----|---------------------------|---|---|
| 11 | 2020年度海外研修支援事業の件 | 報 | 告 |
| 12 | 2019年度ORセミナーの報告 | 〃 | |
| 13 | 2020年度ORセミナーの年間計画の件 | 〃 | |
| 14 | 2020年春季研究発表会中止対応の件 | 〃 | |
| 15 | 2019年度研究部会・グループ活動報告及び決算の件 | 〃 | |
| 16 | OR学会会員制度の見直しに関する最終報告の件 | 〃 | |
| 17 | 理事会のオンライン開催について | 〃 | |
| 18 | 総会のオンライン開催について | 〃 | |
| 19 | 代表理事の業務執行状況報告（2019年度後半） | 〃 | |

【2020年度（総会直後の）臨時理事会】 2020年4月27日（Zoomによりオンライン開催）

◇審議

- | | | | |
|---|--------------|---|---|
| 1 | 代用理事・会長選出の件 | 承 | 認 |
| 2 | 代表理事・副会長選出の件 | 〃 | |
| 3 | 理事の会務の件 | 〃 | |

【2020年度第2回】 2020年5月26日（Zoomによりオンライン開催）

◇審議

- | | | | |
|---|--------------------------|---|---|
| 1 | 前回理事会議事録確認の件 | 承 | 認 |
| 2 | 入会・シニア・特別会員承認の件 | 〃 | |
| 3 | 内閣府への公益目的事業の変更届の件 | 〃 | |
| 4 | 2020年度学会賞(秋季表彰その1)授賞候補の件 | 〃 | |
| 5 | 2020年度対外委員の件 | 〃 | |

6 2020 年度各委員及び幹事委嘱の件	承	認
7 2020 年秋季研究発表会・シンポジウム中止の件	〃	
8 2020 年度研究部会追加補助金の件	〃	
9 2020 年度 OR セミナ一年間計画見直しの件	〃	
◇報告		
10 OR学会運営におけるオンライン化推進の件	報	告
11 2020年度予算収支均衡に向けた事業見直しの件	〃	
12 次回理事会議事の件	〃	

【2020 年度第 3 回】 2020 年 7 月 28 日 (Zoom によりオンライン開催)

◇審議		
1 前回理事会議事録確認の件	承	認
2 入会・シニア・特別会員承認の件	〃	
3 2020年度第1Q収支の件	〃	
4 支部会計取扱規則の改定の件	〃	
5 規定見直作業（2020年度）の件	〃	
6 2020年度秋季表彰（その2）学生論文賞受賞者候補者推薦の件	〃	
7 2021年度海外研究助成事業の件	〃	
8 2020年度春季研究発表会・シンポジウム（中止）決算報告の件	〃	
9 2021年度支部事業費交付のための予算確保のお願いの件	継続審議	
10 事務局体制の件	〃	
11 選考委員会の立ち上げの件	〃	
◇報告		
12 OR学会予算収支均衡に向けた事業見直しの件	報	告
13 普及関連の事業見直しの件	〃	
14 2020年度秋季研究発表会中止対応検討状況の件	〃	
15 OR学会副賞金総額の検討方針の件	〃	
16 OR学会のオンライン化の推進計画の件	〃	
17 OR学会庶務幹事会におけるタスクフォースの立ち上げの件	〃	
18 2020年度第1回ORセミナー実施要項及び予算の件	〃	
19 ORセミナーの業務見直しの件	〃	
20 次回理事会議事の件	〃	

【2020 年度第 4 回】 2020 年 10 月 28 日 (Zoom によりオンライン開催)

◇審議		
1 前回理事会議事録確認の件	承	認
2 入会・シニア・特別会員承認の件	〃	
3 前会長斎藤裕氏名誉会員承認の件	〃	
4 2020 年度第2Q 収支の件	〃	
5 2021 年度春季研究発表会・シンポジウム予算案	〃	
6 2021 年度秋季研究発表会・シンポジウム計画案	〃	
7 2021 年度春季・秋季シンポジウムにおける会員特典無料参加の廃止について	〃	
8 2021 年度支部事業費について(継続審議)	〃	
9 2020 年度第2 回ORセミナーの件	〃	
10 2021 年度研究者海外研修支援事業の中止について	〃	
11 機関誌編集・印刷業者の変更の検討	〃	
12 事務局長の2021 年度における契約更新に関する提案	〃	
13 事務局体制の件（退職承認他）	〃	
14 テレワーク就業規程制定の件	〃	
15 2020 年度秋季研究発表会・シンポジウム決算について	〃	
◇報告		
16 学会収支均衡に向けてのお願い	報	告

17	2021 年度予算作成の依頼	〃
18	研究発表大会とシンポジウム分析	未 実 施
19	2020 年度各種給付金助成金申請の件	〃
20	他団体研究助成の推薦の件	報 告
21	会費の取り扱い事務手続きの改定	未 実 施
22	ORセミナーにおける広告掲載募集について	〃
23	ホームページに対する意見集約	報 告
24	ホームページ作成2021 年度予算申請に向けての価格調査	〃
25	Webメインコンテンツ案	〃
26	2020年度前半代表理事職務執行状況の報告	未 実 施
27	FMES事務局業務の件	〃
28	2021-2022 年度役員の選挙日程	報 告
29	次回理事会議事予定	〃

【2020 年度第 5 回】 2020 年 12 月 14 日 (Zoom によりオンライン開催)

◇審議

1	前回理事会議事録確認の件	承 認
2	入会・シニア・特別会員承認の件	〃
3	2021年春季研究発表会・シンポジウム概要	〃
4	ORセミナー各回の状況について	〃
5	学生会員会費無料化キャンペーンの終了について	〃

◇報告

6	第4回理事会の報告事項 (時間不足により第5回へ持ち越し案件)	報 告
7	4-4-4 研究発表会及びシンポジウムの手引きの変更	〃
8	会員管理システム「マイページ」開設の報告	〃
9	機関誌に関する改善案についての進捗状況	〃
10	2012年度予算案査定について	〃
11	他団体研究助成金について	〃
12	次回理事会議事予定	〃
追加	支部長会議開催報告	〃

【2020 年度第 6 回】 2021 年 1 月 28 日 (Zoom によりオンライン開催)

◇審議

1	前回理事会議事録確認	承 認
2	入会・シニア・特別会員承認の件	〃
3	第8回近藤賞候補者推薦の件	〃
4	2021年度春季表彰学会受賞候補者推薦の件	〃
5	新フェロー推薦の件	〃
6	2020年度ORセミナー収支及びアンケート結果について	〃
7	2021年度ORセミナー実施要項・収支予算案について	〃
8	2021年度支部事業計画案について	〃
9	2021年度研究部会・グループの継続／新設について	〃
10	2021年度研究部会・グループへの追加補助金について	〃
11	内閣府への届出 (2月末まで)	〃
12	2020年度 3Q収支の件	〃
13	2021年度予算の件	〃
14	機関紙電子化の件	〃
15	内閣府への届け出 (2021年2月末まで)	〃
16	2021年度業務委託契約変更等の件	〃
17	2021年度通常総会日程の件	〃

◇報告

18	2020年度第2回ORセミナー収支について	報 告
----	-----------------------	-----

19	2021-2022年度役員選挙の件	〃
20	新年度委員選任の依頼について	〃
21	1月号のオペレーションズ・リサーチの特集について	〃
22	論文誌 査読システムの利用申請の報告について	〃
23	文部科学省申請に伴う要望書提出の件	〃
24	次回理事会議事予定（その他，継続審議案件等）	〃
追加	2021年春季支部長会議日程調整について	〃
追加	2020年春季研究発表会及びシンポジウム日程会場未定について	〃
追加	ORサロン廃止とORセミナー参加費改訂手続きについて	〃

【役員】

理事（非常勤）

定数：12人から18人（現在：17人）

任期：2年

監事（非常勤）

定数：2人（現在：2人）

任期：2年

2020年度末現在

理事・監事 の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事（会長）	田口 東	非常勤	2020.4.27	会務の総理	なし	中央大学
〃（副会長）	松井 知己	〃	2019.4.25	〃	〃	東京工業大学
〃（ 〃 ）	河東 晴子	〃	2019.4.25	〃	〃	三菱電機株式会社
〃（ 〃 ）	田辺 隆人	〃	2020.4.27	〃	〃	NTT データ数理システム
〃（庶務）	渡部 大輔	〃	2019.4.25	〃	〃	東京海洋大学
〃（ 〃 ）	原田 耕平	〃	2020.4.27	〃	〃	NTT データ数理システム
〃（会計）	諸星 穂積	〃	2020.4.27	会計	〃	政策研究大学院大学
〃（普及）	永井 秀稔	〃	2020.4.27	普及	〃	日鉄ソリューションズ（株）
〃（研究）	三好 直人	〃	2019.4.25	研究	〃	東京工業大学
〃（OR誌編集）	繁野 麻衣子	〃	2019.4.25	機関誌編集	〃	筑波大学
〃（JORSJ編集）	土谷 隆	〃	2020.4.27	論文誌編集	〃	政策研究大学院大学
〃（国際）	矢野 浩仁	〃	2019.4.25	国際	〃	株式会社日立製作所
〃（渉外）	西松 研	〃	2020.4.27	渉外	〃	NTT ネットワーク基盤研究所
〃（広報）	森口 聡子	〃	2020.4.27	広報	〃	東京都立大学
〃（支部）	森田 浩	〃	2019.4.25	支部	〃	大阪大学
〃（大会）	加地 太一	〃	2019.4.25	大会	〃	小樽商科大学
〃（ 〃 ）	古川 哲也	〃	2020.4.27	〃	〃	九州大学
〃（無任所）	（欠員）					
監事	渡辺 隆裕	〃	2019.4.25	定款 20 条	〃	東京都立大学
〃	細田 順子	〃	2020.4.27	〃	〃	株式会社日立製作所

【会員状況】

1. 2020 年度通算 (2020/03/01～2021/2/29)

	名誉会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・特別	有料	無料	A 種	B 種	
2020.3.1	13	1428	71	7	237	37 (46)	19 (19)	1812
入 会		31	1	3	59	2 (2)		96
退 会	▲1	▲41	▲14	▲1	▲104	▲2 (2)	▲3 (3)	▲166
資格喪失		▲26						▲26
移動	学→正	24			▲ 24			0
	正→学	▲ 2			2			0
	正→シ	▲ 9	9					0
	シ→正							0
	正→名	1	▲ 1					0
今期間増減	0	▲24	▲4	2	▲67	0 (0)	▲3 (3)	▲96
2021.2.28 現在	13	1404	67	9	170	37 (46)	16 (16)	1716

()内は口数

年月日	合計	前年比
2021.02.28	1716	▲ 96
2020.02.29	1812	▲ 72
2019.02.28	1884	▲ 24
2018.02.28	1908	▲ 50
2017.02.28	1958	▲ 15
2016.02.29	1973	▲ 67
2015.02.28	2040	▲ 45
2014.02.28	2085	29
2013.02.28	2056	▲ 86
2012.02.29	2142	▲ 56
2011.02.28	2198	▲ 1
2010.02.28	2199	▲ 40

2. 支部別会員数

支部	名誉会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・特別	有料	無料	A 種	B 種	
北海道		41	2		2			45
東 北		44	2	1	5			52
中 部		112	11	1	18		1	143
関 西	2	185	10	1	15	5		218
中国・四国		64	4		3	1		72
九 州		65	4	1	12			82
本 部	11	893	34	5	115	31	15	1104
2021.2.28 現在	13	1404	67	9	170	37 (46)	16 (16)	1716

()内は口数

貸借対照表

令和 3年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	28,342,078	33,372,126	△ 5,030,048
未収会費	2,312,600	1,549,400	763,200
未収金	727,255	863,984	△ 136,729
前払金	261,360	261,360	0
前払費用	102,930	82,601	20,329
仮払金	0	500,000	△ 500,000
預け金	1,045,528	0	1,045,528
流動資産合計	32,791,751	36,629,471	△ 3,837,720
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,168,580	1,001,085	167,495
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,500,000	4,800,000	△ 300,000
OA化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
OR事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	8,000,000	8,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
若手OR研究者育成基金	7,500,000	9,100,210	△ 1,600,210
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	1,074,497	729,567	344,930
特定資産合計	75,123,077	76,510,862	△ 1,387,785
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	76,073,477	77,461,262	△ 1,387,785
資産合計	108,865,228	114,090,733	△ 5,225,505
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	43,200	40,684	2,516
未払費用	279,876	497,351	△ 217,475
前受金	1,814,454	2,706,712	△ 892,258
前受会費	16,706,800	19,116,940	△ 2,410,140
預り金	138,637	231,001	△ 92,364
仮受金	500,000	0	500,000
未払消費税等	272,600	297,800	△ 25,200
流動負債合計	19,755,567	22,890,488	△ 3,134,921
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,168,580	1,001,085	167,495
リース債務	1,760,480	1,233,576	526,904
固定負債合計	2,929,060	2,234,661	694,399
負債合計	22,684,627	25,125,149	△ 2,440,522
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	81,180,601	83,965,584	△ 2,784,983
(うち特定資産への充当額)	(68,954,497)	(70,509,777)	(△ 1,555,280)
正味財産合計	86,180,601	88,965,584	△ 2,784,983
負債及び正味財産合計	108,865,228	114,090,733	△ 5,225,505

正味財産増減計算書

令和 2年 3月 1日から令和 3年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	6,188	5,974	214
受取利息	6,188	5,974	214
受取入会金	59,700	107,100	△ 47,400
受取正会員入会金収入	28,500	40,500	△ 12,000
受取学生会員入会金収入	31,200	66,600	△ 35,400
受取会費	26,083,600	28,071,200	△ 1,987,600
正会員受取会費収入	20,757,600	22,557,600	△ 1,800,000
学生会員受取会費収入	45,000	40,600	4,400
賛助会員受取会費収入	5,281,000	5,473,000	△ 192,000
事業収益	9,726,048	15,461,169	△ 5,735,121
受取販売収益	2,530,132	2,343,799	186,333
受取研究発表参加収入	1,198,000	3,490,000	△ 2,292,000
受取参加料	498,350	3,651,000	△ 3,152,650
受取広告料	4,305,892	4,784,800	△ 478,908
受取受託料	1,000,000	1,000,000	0
受取掲載料	23,000	0	23,000
受取著作権料	170,674	191,570	△ 20,896
受取補助金等	0	250,000	△ 250,000
受取寄付金	3,063,440	0	3,063,440
受取寄付金	3,063,440	0	3,063,440
雑収益	9,441	70,134	△ 60,693
受取利息	190	233	△ 43
雑収益	9,251	69,901	△ 60,650
経常収益計	38,948,417	43,965,577	△ 5,017,160
(2) 経常費用			
事業費	37,274,565	46,431,010	△ 9,156,445
給与手当	7,172,650	7,275,766	△ 103,116
賞与	2,107,962	2,054,724	53,238
臨時雇賃金	0	928,830	△ 928,830
退職金	42,750	0	42,750
法定福利費	758,800	706,177	52,623
福利厚生費	26,661	26,142	519
旅費交通費	163,269	2,703,639	△ 2,540,370
通信運搬費	3,476,496	3,510,782	△ 34,286
退職給付費用	449,996	540,432	△ 90,436
消耗品費	2,528,237	1,937,455	590,782
会議費	608,311	4,962,425	△ 4,354,114
印刷製本費	7,986,667	8,310,513	△ 323,846
賃借料	3,204,108	3,193,517	10,591
保険料	14,776	5,899	8,877
租税公課	272,600	297,800	△ 25,200
諸謝金	4,232,661	6,668,365	△ 2,435,704
委託費	1,630,750	1,558,898	71,852
支払手数料	2,232,858	1,344,278	888,580
減価償却費	161,097	188,912	△ 27,815
貸倒損失	190,640	190,080	560
雑費	13,276	26,376	△ 13,100
管理費	4,061,761	4,866,588	△ 804,827
給与手当	796,958	808,415	△ 11,457
賞与	234,218	228,302	5,916
臨時雇賃金	0	16,770	△ 16,770
退職金	4,750	0	4,750
法定福利費	84,306	78,461	5,845
福利厚生費	2,960	2,903	57
旅費交通費	371,363	868,503	△ 497,140
通信運搬費	38,794	60,735	△ 21,941
退職給付費用	49,999	60,048	△ 10,049
消耗品費	90,078	22,770	67,308
会議費	1,257	477,303	△ 476,046
印刷製本費	0	90,116	△ 90,116
賃借料	356,004	345,713	10,291
保険料	1,641	656	985
租税公課	33,200	45,500	△ 12,300
水道光熱費	268,557	237,272	31,285
委託費	1,100	75,093	△ 73,993
支払手数料	97,511	52,167	45,344
支払報酬料	902,000	597,900	304,100
諸会費	405,180	428,760	△ 23,580
減価償却費	17,899	20,989	△ 3,090
貸倒損失	285,960	285,120	840
雑費	18,026	63,092	△ 45,066
経常費用計	41,336,326	51,297,598	△ 9,961,272

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,387,909	△ 7,332,021	4,944,112
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,387,909	△ 7,332,021	4,944,112
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	397,074	0	397,074
経常外費用計	397,074	0	397,074
当期経常外増減額	△ 397,074	0	△ 397,074
当期一般正味財産増減額	△ 2,784,983	△ 7,332,021	4,547,038
一般正味財産期首残高	83,965,584	91,297,605	△ 7,332,021
一般正味財産期末残高	81,180,601	83,965,584	△ 2,784,983
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	86,180,601	88,965,584	△ 2,784,983

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 3月 1日から令和 3年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	6,038	6,038	150	0	6,188
受取利息	6,038	6,038	150	0	6,188
受取入会金	42,600	42,600	17,100	0	59,700
受取正会員入会金収入	11,400	11,400	17,100	0	28,500
受取学生会員入会金収入	31,200	31,200	0	0	31,200
受取会費	22,104,106	22,104,106	3,979,494	0	26,083,600
正会員受取会費収入	16,778,106	16,778,106	3,979,494	0	20,757,600
学生会員受取会費収入	45,000	45,000	0	0	45,000
賛助会員受取会費収入	5,281,000	5,281,000	0	0	5,281,000
事業収益	9,726,048	9,726,048	0	0	9,726,048
受取販売収益	2,530,132	2,530,132	0	0	2,530,132
受取研究発表参加収入	1,198,000	1,198,000	0	0	1,198,000
受取参加料	498,350	498,350	0	0	498,350
受取広告料	4,305,892	4,305,892	0	0	4,305,892
受取受託料	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000
受取掲載料	23,000	23,000	0	0	23,000
受取著作権料	170,674	170,674	0	0	170,674
受取寄付金	2,958,896	2,958,896	104,544	0	3,063,440
受取寄付金	2,958,896	2,958,896	104,544	0	3,063,440
雑収益	9,260	9,260	181	0	9,441
受取利息	9	9	181	0	190
雑収益	9,251	9,251	0	0	9,251
経常収益計	34,846,948	34,846,948	4,101,469	0	38,948,417
(2) 経常費用					
事業費	37,274,565	37,274,565	0	0	37,274,565
給与手当	7,172,650	7,172,650	0	0	7,172,650
賞与	2,107,962	2,107,962	0	0	2,107,962
退職金	42,750	42,750	0	0	42,750
法定福利費	758,800	758,800	0	0	758,800
福利厚生費	26,661	26,661	0	0	26,661
旅費交通費	163,269	163,269	0	0	163,269
通信運搬費	3,476,496	3,476,496	0	0	3,476,496
退職給付費用	449,996	449,996	0	0	449,996
消耗品費	2,528,237	2,528,237	0	0	2,528,237
会議費	608,311	608,311	0	0	608,311
印刷製本費	7,986,667	7,986,667	0	0	7,986,667
賃借料	3,204,108	3,204,108	0	0	3,204,108
保険料	14,776	14,776	0	0	14,776
租税公課	272,600	272,600	0	0	272,600
諸謝金	4,232,661	4,232,661	0	0	4,232,661
委託費	1,630,750	1,630,750	0	0	1,630,750
支払手数料	2,232,858	2,232,858	0	0	2,232,858
減価償却費	161,097	161,097	0	0	161,097
貸倒損失	190,640	190,640	0	0	190,640
雑費	13,276	13,276	0	0	13,276
管理費	0	0	4,061,761	0	4,061,761
給与手当	0	0	796,958	0	796,958
賞与	0	0	234,218	0	234,218
退職金	0	0	4,750	0	4,750
法定福利費	0	0	84,306	0	84,306
福利厚生費	0	0	2,960	0	2,960
旅費交通費	0	0	371,363	0	371,363
通信運搬費	0	0	38,794	0	38,794
退職給付費用	0	0	49,999	0	49,999
消耗品費	0	0	90,078	0	90,078
会議費	0	0	1,257	0	1,257
賃借料	0	0	356,004	0	356,004
保険料	0	0	1,641	0	1,641
租税公課	0	0	33,200	0	33,200
水道光熱費	0	0	268,557	0	268,557
委託費	0	0	1,100	0	1,100
支払手数料	0	0	97,511	0	97,511
支払報酬料	0	0	902,000	0	902,000
諸会費	0	0	405,180	0	405,180
減価償却費	0	0	17,899	0	17,899
貸倒損失	0	0	285,960	0	285,960
雑費	0	0	18,026	0	18,026
経常費用計	37,274,565	37,274,565	4,061,761	0	41,336,326
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,427,617	△ 2,427,617	39,708	0	△ 2,387,909
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,427,617	△ 2,427,617	39,708	0	△ 2,387,909
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
リース資産除却損	357,366	357,366	39,708	0	397,074
経常外費用計	357,366	357,366	39,708	0	397,074
当期経常外増減額	△ 357,366	△ 357,366	△ 39,708	0	△ 397,074
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,784,983	△ 2,784,983	0	0	△ 2,784,983
当期一般正味財産増減額	△ 2,784,983	△ 2,784,983	0	0	△ 2,784,983
一般正味財産期首残高	7,832,654	7,832,654	76,132,930	0	83,965,584
一般正味財産期末残高	5,047,671	5,047,671	76,132,930	0	81,180,601
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	10,047,671	10,047,671	76,132,930	0	86,180,601

財務諸表に対する注記

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職金支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)				
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,001,085	167,495	0	1,168,580
名簿作成準備積立金資産	500,000	0	0	500,000
国際協力積立金資産	15,000,000	0	0	15,000,000
表彰事業積立金資産	4,800,000	1,500,000	1,800,000	4,500,000
○A化積立金資産	8,380,000	0	0	8,380,000
○R事典積立金資産	4,000,000	0	0	4,000,000
近藤賞基金引当資産	8,000,000	0	0	8,000,000
公益事業充当資産	20,000,000	0	0	20,000,000
若手○R研究者育成基金	9,100,210	0	1,600,210	7,500,000
助成事業積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
リース資産	729,567	921,000	576,070	1,074,497
小 計	76,510,862	2,588,495	3,976,280	75,123,077
合 計	76,510,862	2,588,495	3,976,280	75,123,077

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)				
科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,168,580	(0)	(0)	(1,168,580)
名簿作成準備積立金資産	500,000	(0)	(500,000)	(0)
国際協力積立金資産	15,000,000	(0)	(15,000,000)	(0)
表彰事業積立金資産	4,500,000	(0)	(4,500,000)	(0)
○A化積立金資産	8,380,000	(0)	(8,380,000)	(0)
○R事典積立金資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
近藤賞基金引当資産	8,000,000	(0)	(8,000,000)	(0)
公益事業充当資産	20,000,000	(5,000,000)	(15,000,000)	(0)
若手○R研究者育成基金	7,500,000	(0)	(7,500,000)	(0)
助成事業積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
リース資産	1,074,497	(0)	(1,074,497)	(0)
小 計	75,123,077	(5,000,000)	(68,954,497)	(1,168,580)
合 計	75,123,077	(5,000,000)	(68,954,497)	(1,168,580)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)			
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	1,314,372	239,875	1,074,497
合 計	1,314,372	239,875	1,074,497

附属明細書

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,001,085	499,995	332,500		1,168,580

財産目録

令和 3年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	110, 379
	預金	<振替預金> ゆうちょ銀行 根津支店	運転資金として	13, 250, 941
		ゆうちょ銀行 根津支店	運転資金として	13, 100, 205
		<普通預金> みずほ銀行根津支店	運転資金として	150, 736
		三井住友銀行 白山支店	運転資金として	14, 980, 758
		三菱UFJ銀行 千駄木支店	運転資金として	5, 137, 048
		みずほ銀行根津支店	運転資金として	3, 207, 573
		みずほ銀行根津支店	運転資金として	1, 092, 462
	未収会費	正会員	当年度会費の未収分	302, 216
		シニア会員	当年度会費の未収分	5, 241, 459
		賛助会員A	当年度会費の未収分	2, 312, 600
	未収金	株明報社	当年度広告料の未収分	2, 196, 000
		部会	未精算金	21, 600
	前払金	サンチカビル	3月分事務所家賃	95, 000
	前払費用	事務局	事務局保険料等	727, 255
	預け金	P a y P a i	運転資金として	722, 150
流動資産合計				5, 105
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	みずほ銀行 根津支店	職員の退職給付の給付に備えるために積立資産として管理されている預金	1, 168, 580
	名簿作成準備積立金資産	三菱UFJ銀行 千駄木支店	名簿作成のための積立資金	500, 000
	国際協力積立金資産	三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・普及啓発事業で使用している	15, 000, 000
	表彰事業積立金資産	みずほ銀行 根津支店	表彰事業のための積立資産	4, 500, 000
	OA化積立金資産	三井住友銀行白山支店	備品等のOA化のための積立資産	8, 380, 000
	OR事典積立金資産	みずほ銀行 根津支店	OR辞典のための積立資産	4, 000, 000
	近藤賞基金引当資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発事業の近藤賞のための積立資産	8, 000, 000
	公益事業充当資産	みずほ銀行 根津支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・普及啓発事業で使用している。	20, 000, 000
	若手OR研究者育成基金	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発事業のための積立資産	7, 500, 000
	助成事業積立資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発事業のための積立資産	5, 000, 000
	リース資産	複合機他	共用財産であり、うち90%は公益目的保有財産として公益目的事業の用に供し、うち10%は管理運営の用に供している	1, 074, 497
	保証金	サンチカビル	事務所の保証金	950, 400
固定資産合計				76, 073, 477
資産合計				108, 865, 228
(流動負債)				
	未払金	会員他	返金額等	43, 200
	未払費用	日本年金機構他	社会保険料他	279, 876
	前受金	正会員	入会金の前受分	1, 814, 454
		学生会員	入会金の前受分	16, 500
		会員等	翌年度シンポジウム参加費他	12, 600
		会員等	翌年度春季研究発表会参加費他	836, 354
	前受会費	正会員	正会員会費の前受分	949, 000
		学生会員	学生会員会費の前受分	16, 706, 800
		賛助会員A	賛助会員会費の前受分	12, 657, 600
		賛助会員B	賛助会員会費の前受分	30, 000
		シニア会員	シニア会員会費の前受分	3, 040, 000
	預り金	職員等	職員の源泉所得税の預かり分	720, 000
		講師等	講師謝金の源泉税預り分	259, 200
		公認会計士等	会計士事務所の源泉税預り分	138, 637
	仮受金	F M E S	F M E Sの事務局担当経費仮受分	116, 177
	未払消費税等	税務署	消費税の支払額	10, 823
流動負債合計				11, 637
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1, 168, 580
	リース債務	シャープ・ファイナンス株	リース資産の支払残高	1, 760, 480
固定負債合計				2, 929, 060
負債合計				22, 684, 627
正味財産				86, 180, 601

監 査 報 告

2021 年 4 月 2 日

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

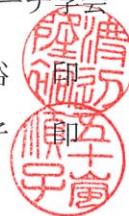
会長 田口 東 殿

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

監事 渡辺 隆裕

監事 五十嵐 順子



私たち監事は、2020 年 3 月 1 日から 2021 年 2 月 28 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表（内訳表を含む）、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2021-2022 年度役員候補者の件

理事／監事	候補者	
理事	田村 明久	慶応義塾大学
理事	山田 昭雄	日本電気(株)
理事	鳥海 重喜	中央大学
理事	鵜飼 孝盛	防衛大学校
理事	山下 真	東京工業大学
理事	野々部 宏司	法政大学
理事	奥田 隆史	愛知県立大学
理事	田中 環	新潟大学
監事	松林 伸生	慶応義塾大学

役員及び役員候補者の担当会務

会務	定数	2019～2020 年度役員 改選		2020～2021 年度役員 非改選		2021～2022 年度役員 候補者	
会長 代表理事	1			田口 東	中央大学		
副会長 代表理事	3(2)			田辺 隆人	NTT データ 数理システム		
		松井 知己	東京工業 大学			田村 明久	慶応義塾 大学
		河東 晴子	三菱電機 (株)			山田 昭雄	日本電気 (株)
庶務理事	2(1)			原田 耕平	NTT データ 数理システム		
		渡部大輔	東京海洋 大学			鳥海 重喜	中央大学
国際理事	1(0)	矢野 浩仁	(株) 日立製作所			鵜飼 孝盛	防衛大学校
研究普及 理事	2(1)			永井 秀稔	日鉄ソリュー ションズ(株)		
		三好 直人	東京工業 大学			山下 真	東京工業 大学
編集理事	2(1)			土谷 隆	政策研究 大学院大学		
		繁野 麻衣子	筑波大学			野々部 宏司	法政大学
会計理事	1(1)			諸星 穂積	政策研究 大学院大学		
渉外理事	1(1)			西松 研	NTT ネットワーク 基盤研究所		
広報理事	1(1)			森口 聡子	東京都立 大学		
支部理事	1(0)	森田 浩	大阪大学			奥田 隆史	愛知県立 大学
大会理事	2(1)			古川 哲也	九州大学		
		加地 太一	小樽商科 大学			田中 環	新潟大学
無任所 理事	1(1)			(欠員)	(欠員)	(欠員)	(欠員)
監事	2(1)			細田 順子	(株) 日立製作所		
		渡辺 隆裕	東京都立 大学			松林 伸生	慶応義塾 大学

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2021年度事業計画書

事業番号: 公1(1本のみ)

事業の内容: オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会、シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会、シンポジウム、OR セミナー、OR サロン、企業事例交流会等の活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2021年度計画

本事業の各種活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じ、開催要領をオンライン開催等に計画を変更する他、感染予防対策に万全を期する。このため、早急に各種活動を開催するに必要なオンライン会議システムを整備するとともに、参加者の参加申込と参加費払込をオンライン化し、電子同時決済により申込者の手数を軽減と事務局の事務手続きの効率化を図る。また、各種活動への参加費は適正な価格を設定し、学会全体の収支相償に貢献する。

1 研究発表会

◇春季研究発表会:2021年3月2～3日 東京工業大学(オンライン開催) 参加予定 230名

実行委員長 水野眞治(東京工業大学)

◇秋季研究発表会:2021年9月16～17日 九州大学伊都キャンパス(予定) 参加予定 未定

特別テーマ「未定」

実行委員長 古川哲也(九州大学)

2 シンポジウム

◇春季シンポジウム:2021年3月1日 東京工業大学(オンライン開催) 参加予定 120名

特別テーマ「ゲーム理論とORの最前線(仮)」

実行委員長 大和毅彦(東京工業大学)

◇秋季シンポジウム:2021年9月15日 九州大学西新プラザ(予定) 参加予定 未定

特別テーマ「未定」

実行委員長 藤澤克樹(九州大学)

◇支部主催シンポジウム

	実施支部	テーマ	実施時期	実施場所
1	中部支部	リアルオプションの理論・応用とOR	2021年12月予定	名城大学 or オンライン
2	関西支部	確率モデルの躍動	2021年11月予定	大阪市予定
3	中国・四国支部	最適化問題	2021年後期予定	徳島大学理工学部(未定)

3 OR セミナー

◇年間4回程度開催

	テーマ	実施時期	実施要領
1	量子コンピュータと次世代計算機の活用	2021年6月7日	Zoomによるオンライン開催
以降	未定	未定	未定

4 企業事例交流会

- ◇春季研究発表会において開催:2021年3月2日 東京工業大学(オンライン開催) 詳細未定
- ◇秋季研究発表会において開催:2021年9月16日 九州大学伊都キャンパス(予定) 詳細未定

5 SSOR

SSOR:学生会員・若手会員を主な対象とした合宿形式の交流イベント

	主催	実施時期	実施場所
1	中部支部	2021年8月21-22日	愛知県犬山市犬山大門先50-1 犬山館
2	関西支部	2021年10月(予定)	大阪大学会館アセンブリー・ホール(予定)
3	中国・四国支部	2021年11月	鳥取市内(予定)
4	九州支部	2021年10月下旬または11月上旬	未定

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2021年度計画

1 機関誌

機関誌の冊子版は、主要な会員サービスの一つとして会員に郵送してきたが、省資源化の観点から会員サービス向上のための在り方を見直し、65巻1号から電子版配布主体に移行する。また、当面、冊子版は賛助会員、書店販売、会員希望者有償配布に限定して存続させる。これに伴い、業務委託先についても検討する。

- ◇発行回数: 毎月1回 年12回
- ◇発行号:66巻3号～67巻2号
- ◇発行部数:～66巻12号各2100部
- ◇電子版発行:67巻1号～

2 論文誌

論文誌が使用している投稿査読システムを、J-STAGEの投稿査読システム等への移行を検討し、状況が許せば速やかに移行する。

- Journal of the Operations Research Society of Japan (英文論文誌)
 - ◇発行回数: 年4回
 - ◇発行号: 64巻2号～65巻1号
 - ◇発行総数: 各65部
- Transactions of the Operations Research Society of Japan (和文論文誌)
 - ◇発行回数: 年1回
 - ◇発行号: 64巻
 - ◇発行総数: 50部

3 ウェブサイトの充実

2020年度は会員管理マイページを追加した。並行して会員サービス向上と会員維持、新規会員獲得、事務局の改修コスト削減を意図した新ホームページの構成について議論し、大枠の合意を得た。2021年度は、ドラフト版を作成し、具体的な内容の改修に入る。内容の改修の体制づくりを含め、今後のコンテンツ

開発のベースラインとなるサイトを作成することを目指す。

4 メーリングリスト・メールマガジン

メーリングリスト・メールマガジンはメディアとして陳腐化していることは否めないもので、他 SNS の活用も視野に入れて 2021 年度は同様のサービスが提供できるアプリケーションの調査を行う。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を設置し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行う。

□2021 年度計画

〈常設部会〉

	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	河西憲一(群馬大学)	木村達明(大阪大学)
2	数理計画(RAMP)	吉瀬章子(筑波大学)	高野 祐一(筑波大学)
3	評価の OR	杉山 学(群馬大学)	趙 宇(東京理科大学)
4	意思決定法	飯田洋市(諏訪東京理科大学)	大山口菜都美(秀明大学)
5	サプライチェーン戦略	加納 政志(株式会社日立製作所)	草刈君子

〈部会〉

	部会名	主 査	幹 事
1	ヘルスケアの OR	高木英明(筑波大学)	小笠原 悠(東京都立大学) 阪口昌彦(大阪電気通信大学)
2	超スマート社会のシステムデザインのための理論と応用	牧野和久(京都大学)	山口勇太郎(大阪大学) 森本 陽(三菱重工業(株))
3	動的決定モデルとその応用	来島愛子(上智大学)	吉良知文(群馬大学/九州大学 IMI)
4	信頼性とその応用	岡村寛之(広島大学)	鄭 俊俊(立命館大学)
5	エネルギーシステムの進化と OR	所 健一((一財)電力中央研究所)	宇田川佑介((株)構造計画研究所)
6	データドリブンマーケティング	横山 暁(青山学院大学)	朝日弓未(東京理科大学)、 大竹恒平(東海大学)
7	最適化手法とアルゴリズム(SOMA)	谷川眞一(東京大学)	伊藤勝(日本大学)
8	流動の数理	鳥海重喜(中央大)	稲川敬介(秋田県立大学)
9	危機管理と公衆安全	鶴飼孝盛(防衛大学校)	佐久間大(防衛大学校)

〈研究グループ〉

	グループ名	主 査	幹 事
1	地域課題解決の OR	鈴木勉(筑波大学)	石井儀光(国土交通省国土技術政策総合研究所)
2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪拓也(九州工業大学)	矢実貴志((株)NTTデータ)

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2021 年度計画

〈春季表彰〉 1 月末までに審査・承認予定

- | | |
|-------|---------|
| 1 業績賞 | 1 件予定 |
| 2 普及賞 | 2 件予定 |
| 3 実施賞 | 1 件程度予定 |

〈秋季表彰〉 7 月末までに審査・承認予定

- | | |
|----------|---------|
| 1 研究賞 | 1 件予定 |
| 2 研究賞奨励賞 | 3 件程度予定 |
| 3 事例研究賞 | 3 件程度予定 |
| 4 論文賞 | 1 件予定 |
| 5 学生論文賞 | 5 件程度予定 |

□賞金額の改定(減額)

現行の賞金額は、「学会活性化」の一環として、若手 OR 研究者の一助となるよう、2016 年度表彰より副賞金の増額を決議したが、本措置は 2021 年度(表彰分=2020 年度選考分)までの暫定と定められている。このため、2021 年度初頭には 2022 年度表彰(2021 年度選考分)推薦状公募に際し改定後の賞金額を公示する。

(学会財政の大幅赤字が続いていることから暫定処置の終了を早め、2021 年秋季研究発表会における表彰から賞金額を改定することを決定し、すでに公示した。)

【海外助成事業】

□事業の趣旨・内容

2017 年度より「60 周年記念事業」の一環として、若手研究者の国際的ネットワークづくりの支援を主な狙いとした、新たな事業として「助成事業」をスタートさせた。これは、ある期間、海外研修・海外機関へ派遣することにより、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

OR 学会会員以外にも門戸を広げ広く公募し、国際委員会の選考等を経て、年間 2 名程度の海外派遣を実施する。本措置は 5 年間に期間を 2021 年度派遣分(2020 年度選考分)までの暫定と定められている。

□2021 年度計画

昨年度の派遣予定者が、新型コロナウイルス感染拡大のため、未だ派遣が延期されている。このため、今年度は新たな派遣希望者の募集を中止し、感染拡大状況が許せば、昨年度の派遣予定者 1 名派遣の実現を追求する。

本年度が最終年度であり、2022 年度派遣の募集は行わない。

【事務局体制の充実】

□テレワーク体制確立

新型コロナウイルス感染防止、東京オリンピック開催に伴う交通集中回避、及び、業務処理の効率化による働き方改革の観点から、事務局職員のテレワーク体制を確立する。このために必要な、職員就業規程等を改訂するとともに、テレワーク定着促進助成金を原資として、テレワーク用端末及びネットワーク環境の整備、並びに、テレワークで業務処理が完結する業務処理ソフトウェアを整備する。

□事務所移転

事務所の賃借料を軽減するため、賃借料の減額交渉を行い、一定の減額回答(一割減)を得たが、まだ不十分である。一方、事務局の会議スペースは、新型コロナウイルス感染拡大のため、殆ど使われていない。このため、賃貸料の半減を目指し、移転も視野に入れ、賃貸料減額の方策を検討する。

□業務の効率化による人件費削減

各種参加費の電子決済等、各種業務処理ソフトウェアを導入し、事務局業務をデジタル化することにより、事務局業務を効率化する。これにより削減した業務量により、事務局職員の各人の雇用契約に定める勤務時間に応ずる業務量を適正にするとともに、時間外勤務手当等の人件費を削減する。

【その他】

□学会役員選挙電子化

本年度は、2022年2月に次期会長候補者の信任選挙及び代議員の選挙が実施される予定である。

例年、郵送による役員選挙を実施してきたが、近年、印刷費及び郵送料等の値上げもあり、選挙を実施するために費用が高騰している。これらの経費を節約するため、また、会員の返送のための手数、事務局の開封集計作業量の手数を省力化するため、有償の外部サイトの電子選挙機能の使用を検討する。費用対効果が見えれば、学会の役員選挙の電子化を実施する。

収 支 予 算 書

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0	0	0
特定資産運用益	3,500	3,500	2,500	0	6,000
受取利息	3,500	3,500	2,500	0	6,000
受取利息振替額	0	0	0	0	0
受取入会金	72,000	72,000	36,000	0	108,000
受取正会員入会金収入	24,000	24,000	36,000	0	60,000
受取学生会員入会金収入	48,000	48,000	0	0	48,000
受取会費	12,652,480	12,652,480	11,646,720	0	24,299,200
正会員受取会費収入	7,764,480	7,764,480	11,646,720	0	19,411,200
学生会員受取会費収入	35,000	35,000	0	0	35,000
賛助会員受取会費収入	4,853,000	4,853,000	0	0	4,853,000
事業収益	14,006,985	14,006,985	0	0	14,006,985
受取販売収益	2,437,210	2,437,210	0	0	2,437,210
受取研究発表参加収入	2,000,000	2,000,000	0	0	2,000,000
受取参加料	3,826,200	3,826,200	0	0	3,826,200
受取手数料	250,000	250,000	0	0	250,000
受取広告料	4,316,000	4,316,000	0	0	4,316,000
受取受託料	1,000,000	1,000,000	0	0	1,000,000
受取掲載料	2,000	2,000	0	0	2,000
受取著作権料	175,575	175,575	0	0	175,575
受取会誌料	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	500,000	0	500,000
受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	26,734,965	26,734,965	12,185,220	0	38,920,185

収 支 予 算 書

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
(2) 経常費用					
事業費	44,698,349	44,698,349	0	0	44,698,349
給与手当	8,179,006	8,179,006	0	0	8,179,006
賞与	2,013,643	2,013,643	0	0	2,013,643
臨時雇賃金	660,000	660,000	0	0	660,000
法定福利費	786,555	786,555	0	0	786,555
福利厚生費	108,000	108,000	0	0	108,000
旅費交通費	1,730,800	1,730,800	0	0	1,730,800
通信運搬費	3,469,828	3,469,828	0	0	3,469,828
退職給付費用	385,094	385,094	0	0	385,094
消耗品費	1,192,950	1,192,950	0	0	1,192,950
会議費	2,909,580	2,909,580	0	0	2,909,580
印刷製本費	8,846,600	8,846,600	0	0	8,846,600
広告宣伝費	0	0	0	0	0
修繕費	30,000	30,000	0	0	30,000
賃借料	2,643,066	2,643,066	0	0	2,643,066
保険料	30,000	30,000	0	0	30,000
租税公課	300,000	300,000	0	0	300,000
支払負担金	0	0	0	0	0
支払補助金	10,000	10,000	0	0	10,000
諸謝金	5,472,000	5,472,000	0	0	5,472,000
委託費	2,646,700	2,646,700	0	0	2,646,700
支払手数料	2,072,028	2,072,028	0	0	2,072,028
リース料	732,499	732,499	0	0	732,499
減価償却費	380,000	380,000	0	0	380,000
貸倒損失	0	0	0	0	0
リース資産除却	0	0	0	0	0
雑費	100,000	100,000	0	0	100,000
雑損失	0	0	0	0	0

収 支 予 算 書

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
管理費	0	0	4,485,778	0	4,485,778
給与手当	0	0	908,778	0	908,778
賞与	0	0	223,738	0	223,738
法定福利費	0	0	87,395	0	87,395
福利厚生費	0	0	12,000	0	12,000
旅費交通費	0	0	473,402	0	473,402
通信運搬費	0	0	28,503	0	28,503
退職給付費用	0	0	42,788	0	42,788
消耗品費	0	0	12,000	0	12,000
会議費	0	0	12,000	0	12,000
減価償却費	0	0	42,000	0	42,000
印刷製本費	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	16,000	0	16,000
賃借料	0	0	293,674	0	293,674
保険料	0	0	3,000	0	3,000
租税公課	0	0	750,000	0	750,000
支払負担金	0	0	0	0	0
水道光熱費	0	0	240,000	0	240,000
委託費	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	43,100	0	43,100
リース料	0	0	81,400	0	81,400
支払報酬料	0	0	594,000	0	594,000
諸会費	0	0	515,000	0	515,000
減価償却費	0	0	42,000	0	42,000
貸倒損失	0	0	0	0	0
リース資産除却	0	0	0	0	0
雑費	0	0	65,000	0	65,000
雑損失	0	0	0	0	0
経常費用計	44,698,349	44,698,349	4,485,778	0	49,184,127

収 支 予 算 書

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 17,963,384	△ 17,963,384	7,699,442	0	△ 10,263,942
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 17,963,384	△ 17,963,384	7,699,442	0	△ 10,263,942
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産売却益	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産売却損	0	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0	0
リース資産除却損	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0
過年度減価償却費	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 17,963,384	△ 17,963,384	7,699,442	0	△ 10,263,942
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 17,963,384	△ 17,963,384	7,699,442	0	△ 10,263,942
一般正味財産期首残高	7,848,231	7,848,231	70,634,075	0	78,482,305
一般正味財産期末残高	△ 10,115,154	△ 10,115,154	78,333,517	0	68,218,363
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	△ 5,115,154	△ 5,115,154	78,333,517	0	73,218,363